# つながるスイッチ!! 久留米市社会福祉協議会

vol.29

## 「グランピア自治会・ふれあい津福の会（津福校区）」の取組み

## 高齢者見守りシステムで高齢者の安全を守っています

**今回は「グランピア自治会・ふれあい津福の会（津福校区）」の取組みをご紹介します。**

**グランピア自治会**
**自治会長　樋口俊一さん**

**ふれあい津福の会**
**班長　岡本眞弓さん**

**民生委員、防災士**
**宮本充範さん**

**グランピア津福**
**管理人　案納慎一さん**

### 「高齢者見守りシステム」ができたきっかけ

津福本町にあるグランピアマンション津福では、**月1回、ふれあい津福の会（※）「グランピア」の班長、副班長、民生委員の3人で75歳以上の独居高齢者宅を訪れるふれあい訪問活動を行っています。**

**「訪問の際、インターフォンを鳴らしても応答がないことがあります。留守だろうと判断しますが、もしかしたら家の中で倒れていて応答できないのかもしれない、と、不安になることもありました」**と宮本さん。**「最近見かけないなと感じていた人が、実は入院していたということがありました。訪問は月に1回なので、その回数だと皆さんの安否を確認するには少ないと感じていました」**と岡本さん。ふれあい訪問だけでは、日々の安否確認が正確に行えないと、お二人は不安に感じられていたそうです。なにか良い方法はないかと自治会長の樋口さんに相談。樋口さんは管理会社・管理人に見守り活動について相談しました。すると、**管理会社としても住民の安否確認について課題認識があったそうで、即決で話がまとまり、「高齢者見守りシステム」が動き出しました。**

### 「高齢者見守りシステム」とは？

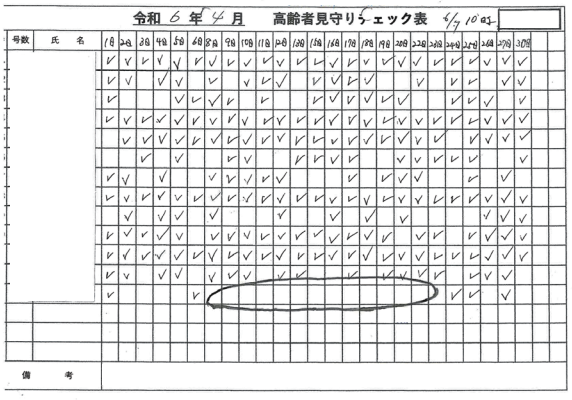
**毎週、月曜～土曜までの6日間（祝日を除く）、朝8時45分～9時の間に対象者は自宅から管理人室のインターフォンを鳴らします。管理人はインターフォンの点灯を目視し、対象者の無事を確認。決まった時間内に点灯がなかった場合は、管理人から対象者をインターフォンで呼び出します。それでも応答がなかった場合は、自治会長や民生委員に連絡し、緊急連絡先に連絡するものです。旅行・入院等で外泊する場合は事前に管理人に連絡を入れるようにし、長期不在の方も把握できるようにしています。**令和6年1月より試験的にスタートし、5月に本格始動しました。

**「高齢者を見守るため、何かできることはないかと常々感じていました。**見守りシステムの提案をいただいた時には、即決で協力させてくださいとお答えしました。**インターフォンを目視して安否を確認するのは、一度で多くの対象者を見守ることができ、とても効率的**です。電話で安否を確認する方法もありますが、それがこの取組みを行うことへの負担になってもいけません。**無理なく長く続けていくことが大切です」**このマンションを見守っている管理人の案納さんは、取組みについてこのように話されます。

**毎月第1金曜日には、管理人、自治会長、ふれあい津福の会班長、民生委員の4名で打ち合わせ会議を行っています。**会議では、毎日管理人さんが記録する**「高齢者見守りチェック表」を見ながらこの1ヶ月で気になったこと、様子などを皆で共有します。**「見守りシステムを始めたことで住民と管理人さんとの距離が近づき、**マンションの出入りの際**

（※）ふれあい津福の会とは…見守り訪問活動やいきいきサロン活動を行うボランティア組織。

などコミュニケーションが増えたようです。全てが見守りにつながっています」と宮本さん。「私はインターフォンを鳴らすのを忘れないように、毎日8時50分にアラームをかけているんですよ（笑）このインターフォンを鳴らすという行動が日課になり、毎日の楽しみのようにもなっています」と、対象者でもある岡本さんは笑顔で話されます。




## マンション内での活動

144世帯が住む「グランピア津福」は75歳以上の高齢者が50名になり高齢化も進んでいます。月1回、2階の集会所で開催されている「ふれあいいきいきサロン」は毎回、12～13名の参加者で賑わいます。講座を開いたり、近くの津福公園でお花見など季節の行事やグランドゴルフも開催。「あいさつや声かけ、行事などに積極的に参加することで、住民同士のつながりをつくっていきたいと思っています」と岡本さん。定期的に避難訓練や図上訓練も行っています。「災害発生時、安否確認を行うために玄関のドアに貼ってもらう『無事です』カードを作りました。災害等が起きた時には、住民の皆さんに玄関ドアの外側へカードを貼ってもらい、各階の自治委員さんがそのカードを確認するようにしています。世帯数が多いので、各階の自治委員さんと連携をとり、災害時に大事にならないよう訓練を怠りません」と宮本さん。マンション独自で様々な活動を行い、グランピア津福は進化しています。

災害時には玄関ドアに貼り、無事を伝えます

## これからのこと

**●樋口さん**

マンションの住民、私たち世話人も高齢化しています。若い世代がもっと活動に参加できるよう、子ども会の復活やラジオ体操の開催など、マンションの住民が元気になるようなイベントをたくさん開催していきたいと思っています。そのためにも多くの住民に自治会に入ってもらえるよう1軒1軒、声かけして回っています。

**●宮本さん**

見守りシステムには12名が申し込んでいますが、いずれは80歳以上の人全員に参加してもらいたいですね。そのために、コツコツ声かけしていきたいです。安全・安心のグランピア津福を守り続けます。20年以上このマンションに住んでいますので、愛着・愛情がたくさんです。

**●岡本さん**

マンションに住む子どもたち皆のおばあちゃんのような存在でありたいです。若い世代や、子どもたちともっとコミュニケーションをとっていきたいです。週1回、ただ気軽にお話しに来ることができる場所として「おしゃべり会」を開催しています。保育園帰りの親子が立ち寄ってくれています。様々な世代の住民がもっとお互いを身近に感じ、居心地のよい空間を作っていきたいです。

## 取材を終えて

マンションが1つの街のようにまとまり、一致団結しているように感じました。マンションの入り口にある庭には、住民の方達がそれぞれ花を持ち寄り、育てています。色鮮やかな花が咲き、マンション全体の明るい空気感を作っていました。住民の皆さんが住みやすいように尽力される管理人さんや、世話人の皆さんの前向きで積極的な活動に感動しました。

宮本 充範さん　岡本 眞弓さん　樋口 俊一さん　案納 慎一さん

行動力がありパワフルな樋口さん。宮本さんは、読書、音楽、ウォーキング、旅行など多趣味。サブスクで流行りの曲を聴きながら毎日1万歩歩いています。岡本さんもガーデニングや洋裁など多趣味。マンション入り口のお花のお手入れも毎日欠かしません。

★「高齢者見守りシステム」スタート
★マンションの管理人とのインターフォンを使った連携
★マンションならではのまとまりで、様々な活動を行う


**久留米市社会福祉協議会**
〒830-0027 久留米市長門石1－1－34
TEL：0942-34-3035
FAX：0942-34-3090
メール：heartful@heartful-volunteer.net
ＨＰ：http://www.heartful-volunteer.net


つながるスイッチ!!はHPでもwebマガジンでも掲載中

▶▶ 久留米市社会福祉協議会 検索

webサイト
［note――つくる、つながる、とどける。］で「つながるスイッチ!!」を検索してください!
＃久留米市 ＃社協 ＃地域 ＃福祉 ＃地域福祉 ＃支え合い ＃見守り ＃マンション